






腸の手術を受けられる患者様へ

患者氏名( 様 )

月/日	/	/	/	/ ~ /	/ ~ /	/ ~ /
<b>結腸切除術 達成目標</b>	入院当日 手術の準備が整い、手術に臨むことができる。	手術当日 痛みがコントロールされ、重篤な合併症が起きない。	術後1日目 痛みがコントロールされ、歩くことができる。	術後2日目~3日目 看護師の援助を得て身の回りのことができるようになる。	術後4日目~5日目 排ガスがあり、経口摂取ができる。	術後6日目~退院まで 体力が回復し、退院後の生活に対する不安が解決する。
<b>検査</b>	・名前を書いたバンドを手首に着けます。	<b>〈手術前〉</b> ・手術前は食べたり飲んだりできません。 ・浣腸をします。 ・入れ歯、メガネ、コンタクト、指輪、湿布は外してください。 ・( )時に点滴をします。 ・ご家族の方は( )時まで病室にいらしてください。	採血をします。	おなかの様子で鼻の管が抜けます。		
<b>処置</b>	・お臍の処置と手術部位の剃毛をします。		病室でレントゲン撮影をします。	毎朝主治医がガーゼ交換を行います。		
<b>点滴注射</b>	点滴はありません。	<b>〈手術入室〉</b> ・( )で手術室に移動します。 ※ご家族の皆様へ ・手術中は2階の家族控室でお待ちください。 ・手術が終了したら、ご家族に医師から説明があります。その後は5階のラウンジでお待ちください。	点滴があります。	食事の摂取状況によって点滴が減っていきます。		
<b>内服</b>	普段飲んでいる薬を確認します。担当看護師に預けてください。 お薬手帳があれば一緒にお渡してください。		<b>〈手術後〉</b> ・手術後はベッド上安静です。起き上がれません。 ・尿の管が入ってきます。 ・傷の近くにも管が入ってきます。 ・鼻に管が入ってきます。 ・点滴は指示があるまで続けます。 ・手術後は頻回に全身状態を観察します。 ・痛みがあったり、気分の悪いときは遠慮せず、ナースコールでお知らせください。		<b>〈入院前から服用している薬について〉</b> 手術前から中止している薬は医師の許可が出るまでは中止です。	
<b>安静</b>	特に制限はありません。通常通りにお過ごしください。	朝の回診後、歩行ができます。初めは看護師と一緒に歩行します。		特に制限はありませんが、管類に注意が必要です。初めは看護師の許可があるまでは、看護師と一緒に歩行しましょう。		
<b>食事</b>	食事・水分についての中止時間は担当看護師から説明があります。	許可があるまでは絶飲食です。	医師の許可が出れば水分が摂取できます。食事は軟らかいものから始めます。			
<b>清潔</b>	入浴できます。	午前中に温かいタオルで体を拭き、着替えをします。	創部に管があるうちは温かいタオルで体を拭きます。	創部の管が抜けたら、創部を保護してシャワー浴ができます。	創部の抜糸後からは入浴できます。	
<b>排泄</b>	午後から下剤を飲みます。		スムーズに歩行ができるようになれば尿の管が抜けます。尿量を測ってもらいます。			
<b>説明</b>	・手術に必要な荷物と手術翌日の着替えを準備します。 ・寝たままで行ううがいの練習を行います。 ・血栓予防に必要な足首運動の練習をします。 ・麻酔科の医師と手術室の看護師から説明があります。	体を動かすことは、血栓・肺炎予防と早期回復の効果があります。しかし、めまいやふらつくようでしたら無理をせず、最初はベッド上で手足を動かす、上半身を起こすなど徐々に体を動かすことをお勧めします。 手術創の痛みは徐々に軽減しますが、我慢せずにご相談ください。		看護師が退院後の生活の注意事項、外来診察日について説明します。		

※スケジュール通りいかない場合があります。何かありました遠慮なく看護師に声をかけてください。